

(仮称) 花と緑の景観まちづくりコンテスト

目的；(仮称) 花と緑の景観まちづくりコンテストは、市民の緑化意識の高揚と花と緑と自然のまちづくりを推進するため、実施します。

内容；地域や学校・事業所など、住民や関係者が一体となって、1年を通して花と緑のまちづくり活動に取り組んでいる事例を表彰する。

対象者；自治会、学校、事業所、個人、地域の緑化グループ等

参加賞；花の種

部門；より多くの皆さんが参加できるよう次の4部門に分けて実施します。

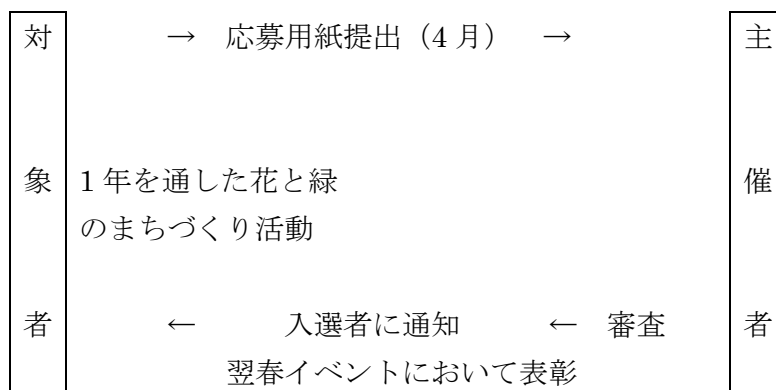
- ・ コミュニティー部門（公園、公民館、集会所、道路の植樹樹等）
- ・ 学校部門（保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学等）
- ・ 事業所部門（事業所、駅、病院等）
- ・ 住宅部門

応募；応募用紙に必要事項を記入の上、写真を添付して提出します。

審査；一年間をとおして、季節毎の提出された写真と現地調査の上、決定。

各部門ごとに賞を決定（最優秀賞、優秀賞、特別賞等）。入選者に通知・表彰。

フロー；



平成20年度は、周知期間を含め応募期間を9月まで延長します。

その他；入選者に副賞と顕彰プレートの配布。

メリット

- ・ (仮称) 花と緑のわがまちづくり助成制度を活用し、コンテストに参加することができます。
- ・ (仮称) 花と緑のわがまちづくり助成制度と一体化することで、参加者の増加が見込まれます。
- ・ 部門を拡充することで、参加者の増加を図り、特に既存の制度ではなかった事業者、住宅部門を創設により、店舗や個人宅の緑化を顕彰し、より花と緑のまちづくりを推進できる。(但し、店舗や個人宅には、助成制度は対象外です。)

花と緑のまちづくりコンテスト（現行）

花と緑のまちづくりコンテストは、市民の緑化意識の高揚と花と緑のまちづくりを推進することを目的に「花づくり部門」と「花のまちづくり部門」の2部門でコンテストを実施しています。

花づくり部門は、市が交付する助成品を用いてマリーゴールドとサルビアの花づくりをしていただき、その花の出来映えを競うものです。オータムイベントにおいて審査及び表彰を行っています。又、コンテスト後の花飾りを支援し、まちが1年中花いっぱいになるよう参加グループにビオラ、ノースポールの種を提供しています。

賞；市長賞（1作品）議長賞（1作品）会頭賞（1作品）特別賞（5作品）

花のまちづくり部門は、花と緑のまちづくりをより一層推進するため、平成15年度から実施し、地域や学校、事業所など住民や関係者が一体となって、1年を通して花と緑のまちづくり活動に取り組んでいる事例や花飾りの状況を表彰しています。

賞；花のまちづくり賞（5作品程度）花のまち飾り賞（7作品程度）

花と緑のまちづくりコンテストの実績

平成14年度		参加団体82	参加人数924
平成15年度	花づくり部門	参加団体82	参加人数853
	花のまちづくり部門	応募数 23	
平成16年度	花づくり部門	参加団体97	参加人数773
	花のまちづくり部門	応募数 18	
平成17年度	花づくり部門	参加団体89	参加人数833
	花のまちづくり部門	応募数 25	
平成18年度	花づくり部門	参加団体87	参加人数835
	花のまちづくり部門	応募数 22	

現状

花づくり部門は、平成4年度から実施しており、今年16回を数える中でサルビア・マリーゴールドの花づくりによる花と緑のまちづくり活動が市内各地で展開されてきました。しかしながら、参加者が固定化し入賞者も常連化しており、新たな参加者は少なくなってきました。新たな参加者を増やすため、花の種類を変更することも検討しましたが、コンテストの日程や育苗の問題から、サルビア・マリーゴールドに替わる適当な花はありませんでした。サルビアとマリーゴールドの花づくりによる花と緑のまちづくりは、市内各地域で展開されてきたことから、ある一定の成果を得られたものと考えます。